

令和2年度郡山市セーフコミュニティ活動推進事業所連携事業参加登録事業所取組状況

◎ 各事業所が郡山市内で取組んでいるセーフコミュニティ活動のテーマの内容

- 1.交通安全に関すること
- 2.こどもの安全に関すること
- 3.高齢者の安全に関すること
- 4.自殺予防に関すること
- 5.防犯に関すること
- 6.防災・環境安全に関すること
- 7.1～6以外の安全安心に関すること

| No. | 参加登録事業所名 | 取組テーマ | 令和元年度取組状況 | 活動改善点 | 令和2年度 |
|---|---|---|---|---|-------|
| 1 | 新日本電工株式会社郡山工場 | 6.防災・環境安全 | 工場内（屋外）の段差・凹凸に注意を促すために、該当箇所への表示を実施した。 | 屋外製品保管場所の凹凸面（アスファルト面）に「ダンサ」の表示を施した。 | 活動継続 |
| 2.3 | シルバービュー郡山 シルバービュー郡山II (NPO法人ラ・シャリテ) | 3.高齢者の安全 | 各居室に配置された非常ボタンや携帯用緊急通報ボタンを押すことにより、日中は職員、また昼夜を通じて警備保障会社が迅速かつ的確に対応した。また、新型コロナウイルス感染予防へ取り組んだ。 | テーマ3について 新型コロナウイルス感染予防のために、新たに飛沫防止パネルや空気清浄機、AI検温器を設置した。 また、施設入り口に県外からの往来や感染の恐れがある方の面会を控えるよう掲示するなど、入居者様へ感染することがないように取り組んだ。 | 活動継続 |
| | | 4.自殺予防 | 定期的に巡回し、事故、急病等の場合、緊急時対応サービスと同様の対応を行った。また、日常生活に関する相談を受けた。 | | |
| | | 5.防犯（高齢者の安全） | 現地施設と本部事務局で連携を取り、来訪者、防犯カメラの映像等をチェックし、異状がないかを確認した。 | | |
| | | 6.防災・環境安全（高齢者の安全） | 段差や階段には入居者の転倒防止のためにスロープや手すりを設置し、バリアフリー化を継続して行った。 | | |
| 4 | 保土谷化学工業株式会社郡山工場 | 5.防犯 | 工場南側歩道に面したフェンスに街灯及びイルミネーションを装着し夜間でも明るくした。 | テーマ6について 火災予防の啓発として、郡山消防本部が毎年行っている「火災予防・住宅用火災警報器絵画・ポスターコンクール」の入賞作品を工場の外壁を活用し、展示した。 | 活動継続 |
| | | 6.防災・環境安全 | 自衛消防操法大会に参加し防災に対して従業員の意識を高めた。 | | |
| | | | 草刈機の使用について外部講習を受講し、未然に事故防止に努めた。 | | |
| | | 7.その他の安全安心に関すること | 工場正門の受付にAEDを設置し、近隣の方々にも365日24時間使用できるようにした。 | | |
| 活動事例 | | | | | |
|  <p>イルミネーションによるライトアップで歩道を明るく安全対策</p> | |  <p>自衛消防操法大会への参加</p> |  <p>近隣の方でも使えるAEDの設置</p> |  <p>「火災予防・住宅用火災警報器絵画・ポスターコンクール」入賞作品展示</p> | |

令和2年度郡山市セーフコミュニティ活動推進事業所連携事業参加登録事業所取組状況

◎ 各事業所が郡山市内で取組んでいるセーフコミュニティ活動のテーマの内容

- 1.交通安全に関すること
- 2.こどもの安全に関すること
- 3.高齢者の安全に関すること
- 4.自殺予防に関すること
- 5.防犯に関すること
- 6.防災・環境安全に関すること
- 7.1～6以外の安全安心に関すること

| No. | 参加登録事業所名 | 取組テーマ | 令和元年度取組状況 | 活動改善点 | 令和2年度 |
|------------------|-------------------------|-------------------|--|---|-------|
| 5 | 株式会社ユアテック郡山営業所 | 1.交通安全 | 運行前に整備状況や運転者の健康チェック、運転免許証現場チェック、上長より運行前の一言アドバイスを実施した。 | テーマ6について地震によるけが防止のため、社内の複合機・テレビ・ラックなどへ落下防止対策を実施した。 | 活動継続 |
| | | | 車内運転者の視線に入る箇所に注意喚起のステッカーを張り、交通安全の意識づけをした。 | | |
| | | | 交通事故一覧表をもとに事故原因を考え、再発防止に役立てた。 | | |
| | | 4.自殺予防 | メンタルヘルス対策を推進するための教育研修・情報提供の一環として、近年増加傾向にあるメンタルヘルス不調の予防と、不調者の早期発見及び対応について理解を深めるために実施した。 | | |
| | | 5.防犯 | 協会・イベントへ参加し、情報を得て、社内に周知展開を行った。 | | |
| | | 6.防災・環境安全 | 従業員の命を救うだけでなく、地域の方々に役立つ可能性があるため、AEDの設置を継続した。 | | |
| 7.その他の安全安心に関すること | 労働災害等をVRで体験する安全教育を実施した。 | | | | |
| 6 | 希望ヶ丘子ども園 | 1.交通安全（こどもの安全） | 4月に交通安全教室を行い、道路の歩き方、横断歩道の渡り方、信号の見方等、音楽に合わせて楽しく学んだ。 | 園児に伝える際、問いかけながら、1人ひとりが考えられるような環境をつくる。日々の保育の中で、命の大切さ等伝えていく。紙芝居や絵本を活用し楽しく学べる環境をつくる。 | 活動継続 |
| | | 2.こどもの安全 | 4月に園庭遊具の使い方、室内での過ごし方等、保育教諭から学んだ上で遊んだ。日々の保育の中でも安全な遊ぶ方を繰り返し伝えた。 | | |
| | | 5.防犯（こどもの安全） | 防犯教室を行い、【イカのおすし】（いかない・のらない・おきなこえをだす・すぐに上げる・しらせる）について学び、意識を高めた。 | | |
| | | 6.防災・環境安全（こどもの安全） | 毎月様々な設定で避難訓練を行い、非常の際に備えている。また、2月には郡山消防署の立ち合いのもと、幼年消防クラブ引継ぎ式を行い5歳児から4歳児へと引き継ぎ、1人ひとりが命の大切さについて学んだ。 | | |

令和2年度郡山市セーフコミュニティ活動推進事業所連携事業参加登録事業所取組状況

◎ 各事業所が郡山市内で取組んでいるセーフコミュニティ活動のテーマの内容

- 1.交通安全に関すること
- 2.こどもの安全に関すること
- 3.高齢者の安全に関すること
- 4.自殺予防に関すること
- 5.防犯に関すること
- 6.防災・環境安全に関すること
- 7.1～6以外の安全安心に関すること

| No. | 参加登録事業所名 | 取組テーマ | 令和元年度取組状況 | 活動改善点 | 令和2年度 |
|------|--|------------------|--|---|--------------|
| 7～23 | 地域包括支援センター（17か所） ・郡山北部高齢者あんしんセンター （郡山北部地域包括支援センター） ・郡山中央高齢者あんしんセンター （郡山中央地域包括支援センター） ・郡山南部高齢者あんしんセンター （郡山南部地域包括支援センター） ・郡山西部高齢者あんしんセンター （郡山西部地域包括支援センター） ・芳賀・小原田高齢者あんしんセンター （芳賀・小原田地域包括支援センター） ・富田高齢者あんしんセンター （富田地域包括支援センター） ・大槻・逢瀬高齢者あんしんセンター （大槻・逢瀬地域包括支援センター） ・大成・大槻東高齢者あんしんセンター （大成・大槻東地域包括支援センター） ・安積高齢者あんしんセンター （安積地域包括支援センター） ・三穂田高齢者あんしんセンター （三穂田地域包括支援センター） ・片平・喜久田高齢者あんしんセンター （片平・喜久田地域包括支援センター） ・日和田・西田高齢者あんしんセンター （日和田・西田地域包括支援センター） ・富久山高齢者あんしんセンター （富久山地域包括支援センター） ・湖南地区高齢者あんしんセンター （湖南地区地域包括支援センター） ・熱海高齢者あんしんセンター （熱海地域包括支援センター） ・田村高齢者あんしんセンター （田村地域包括支援センター） ・郡山東部・中田高齢者あんしんセンター （郡山東部・中田地域包括支援センター） | 1.交通安全（高齢者の安全） | 高齢者が集まる機会や訪問等で交通事故防止のチラシを配布したり、運転免許返納に関する相談対応、高齢者運転免許証返納推進事業・高齢者健康長寿サポート事業の紹介、手続きの支援を継続して実施した。 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら介護予防チラシを配布した。また、活動が制限される中でも実施できる啓発活動について地域での話し合いを継続した。 | 全事業所 活動継続 |
| | | 3.高齢者の安全 | 認知症高齢者SOS見守りネットワーク事業協力団体の会員となり、高齢者の日頃の見守り、行方不明になった際の可能な範囲での発見・保護に協力した。また、認知症高齢者の家族に、SOS見守りネットワークへの事前登録を促すなどの啓発を継続して実施した。 高齢者が集まる機会や訪問等で家庭内での事故防止に向けたチラシを配布し、周知啓発を行うとともに、必要に応じて環境整備の支援を継続して実施した。 | | |
| | | 5.防犯（高齢者の安全） | 高齢者世帯、独居高齢者、認知症高齢者やその家族等へ、防犯、消費者被害等についてのチラシを配布し、周知啓発を行うとともに、必要時には、消費生活センターや警察と連携しながら支援した。 | | |
| | | 7.その他の安全安心に関すること | 主に65歳以上の高齢者の生活、介護、健康、その他の相談支援を継続して実施した。 | | |

令和2年度郡山市セーフコミュニティ活動推進事業所連携事業参加登録事業所取組状況

◎ 各事業所が郡山市内で取組んでいるセーフコミュニティ活動のテーマの内容



- 1.交通安全に関すること
- 2.こどもの安全に関すること
- 3.高齢者の安全に関すること
- 4.自殺予防に関すること
- 5.防犯に関すること
- 6.防災・環境安全に関すること
- 7.1～6以外の安全安心に関すること

| No. | 参加登録事業所名 | 取組テーマ | 令和元年度取組状況 | 活動改善点 | 令和2年度 |
|------|-----------------------|---|--|-------|-------|
| 24 | 株式会社 み・らいとコンサルティング | 1.交通安全 | 毎日出勤時にアルコールチェッカーにて健康状態を確認し健康管理や安全運転に継続して努めた。 | | 活動継続 |
| | | 7.その他の安全安心に関すること | 社用車の鍵に緊急用ホイッスルとLEDライトを付けて防犯や災害に継続して備えた。 | | |
| 活動事例 | | | | | |
| | |  |  | | |
| | | アルコールチェッカー活用による健康管理・安全運転対策 | 緊急用ホイッスルやLEDライト携帯による防犯・災害対策 | | |
| 25 | 郡山市管工事協同組合 | 2.こどもの安全 | 通りに面した駐車場フェンスに表示を掲示した。また対応マニュアルを内部回覧し、職員へ周知した。 | | 活動継続 |
| | | 3.高齢者の安全 | 事務所内入り口にポスターを掲示した。日頃の見守り、行方不明時の可能な範囲での協力を実施した。 | | |
| | | 6.防災・環境安全 | 市の総合防災訓練へ毎年参加し、地域や組合内での防災意識の向上に努めた。 事務所内の出入り口からすぐ見える場所へAEDを設置した。 | | |
| 活動事例 | | | | | |
| | |  |  | | |
| | | 「こども110番の家」活動に参加、地域ぐるみのこどもの安全活動に協力 | 郡山市総合防災訓練への参加 | | |

令和2年度郡山市セーフコミュニティ活動推進事業所連携事業参加登録事業所取組状況

◎ 各事業所が郡山市内で取組んでいるセーフコミュニティ活動のテーマの内容

- 1.交通安全に関すること
- 2.こどもの安全に関すること
- 3.高齢者の安全に関すること
- 4.自殺予防に関すること
- 5.防犯に関すること
- 6.防災・環境安全に関すること
- 7.1～6以外の安全安心に関すること

| No. | 参加登録事業所名 | 取組テーマ | 令和元年度取組状況 | 活動改善点 | 令和2年度 |
|---|---|----------|--|--|-------|
| 26 | 特定非営利活動法人ぴいかあぶう | 2.こどもの安全 | 子ども達の安心下校のサポート（年間200日以上）を実施した。 | こども110番の家の登録を実現することができた。感染対策を取りながら、安心して参加できる活動を提供することができた。 | 活動継続 |
| | | | 外出、移動時の見守り・付き添いを行った。 | | |
| こども110番の家に登録（大槻小学区1事業所、大成小学区2事業所）。 | | | | | |
| 安心して過ごせる居場所、活動の提供（感染防止対策、施設内の環境整備、年間100回以上の運動プログラムやクリスマスイベントの開催など）を行った。 | | | | | |
| 地震や火事を想定した避難訓練を行った。 | | | | | |
| 活動事例 | | | | | |
| |   | |   | | |
| | 「こども110番の家」活動に参加、地域ぐるみのこどもの安全活動に協力 | | 避難訓練の実施 | 外出、移動時の見守り・付き添い | |
| 27 | 日本全業工業株式会社 | 1.交通安全 | 年3回以上、安全運転教育の実施をした。 | | 活動継続 |
| | | | 有責事故発生時の対応（賞罰）の徹底を行った。 | | |
| | | | 安全運転管理者向けの講習を実施した。 | | |
| | | | 自動ブレーキ等、安全装置の拡充を行った。 | | |

令和2年度郡山市セーフコミュニティ活動推進事業所連携事業参加登録事業所取組状況

◎ 各事業所が郡山市内で取組んでいるセーフコミュニティ活動のテーマの内容

- 1.交通安全に関する事
- 2.こどもの安全に関する事
- 3.高齢者の安全に関する事
- 4.自殺予防に関する事
- 5.防犯に関する事
- 6.防災・環境安全に関する事
- 7.1～6以外の安全安心に関する事

| No. | 参加登録事業所名 | 取組テーマ | 令和元年度取組状況 | 活動改善点 | 令和2年度 |
|-----|---------------|-----------------|--|--|-------|
| 28 | 株式会社縁寿 | 1.交通安全 | 令和2年10月9日に災害時連携協定締結し、偶数月に防災訓練（交通安全対策等含む）に向けての会議を実施した。 会議の中で地域で防災訓練する日を伺うことはできる環境であるが、コロナのまん延防止を目的に中止となっている。 | コロナまん延防止のため2020年度は地域の防災訓練は縮小もしくは開催中止のため、災害時連携協定締結はできたが、その他の取り組みまでは活動できていない。引き続き会議を重ねてセーフコミュニティ目的を果たしていきたい。 | 活動継続 |
| | | 2.こどもの安全 | 災害時連携協定締結したことを町内会のHPで発信してもらっている。また、災害時など一時的な保護をすることを町内会の総会で報告してもらっている。 | | |
| | | 3.高齢者の安全 | 災害時連携協定締結したことを町内会のHPで発信してもらっている。また、災害時など一時的な保護をすることを町内会の総会で報告してもらっている。 | | |
| | | 5.防犯 | 災害時連携協定締結したことを町内会のHPで発信してもらっている。また、災害時など一時的な保護をすることを町内会の総会で報告してもらっている。 | | |
| | | 6.防災・環境安全 | 令和2年10月9日に災害時連携協定締結し、偶数月に防災訓練（交通安全対策等含む）に向けての会議を実施した。 会議の中で地域で防災訓練する日を伺うことはできる環境であるが、コロナのまん延防止を目的に中止となっている。 | | |
| 29 | 東北電力株式会社郡山営業所 | 1.交通安全 | 車両の不備・故障の早期発見、事故防止のため点検を実施した。 運転前には飲酒運転は絶対しない・させないため、アルコールチェックと運転中の事故防止のためのアドバイスを実施した。 | 個人車両運転時もアルコールチェックができるよう、アルコールチェッカーの購入斡旋を行い、防止に努めた。 | 活動継続 |
| | | 2.こどもの安全 | 「こども110番の店・車」の表示を車両及び事業所受付に設置し、見守り活動を行った。 | | |
| | | 3.高齢者の安全 | 事業所外で業務を実施する際に、認知症高齢者を発見した場合は通報することとしている。 | | |
| | | 6.防災・環境安全 | 各種災害に対する訓練を社内で行うとともに、自治体主催の訓練へも参加している。 | | |
| | | 7.その他の安全安心に関する事 | 会社内で発生した労働災害について、類似災害発生防止の周知を実施した。 | | |

令和2年度郡山市セーフコミュニティ活動推進事業所連携事業参加登録事業所取組状況

◎ 各事業所が郡山市内で取組んでいるセーフコミュニティ活動のテーマの内容

- 1.交通安全に関すること
- 2.こどもの安全に関すること
- 3.高齢者の安全に関すること
- 4.自殺予防に関すること
- 5.防犯に関すること
- 6.防災・環境安全に関すること
- 7.1～6以外の安全安心に関すること

| No. | 参加登録事業所名 | 取組テーマ | 令和元年度取組状況 | 活動改善点 | 令和2年度 |
|-----|----------------|-----------|---|---------------------------------------|-------|
| 30 | 福島交通株式会社郡山支社 | 1.交通安全 | 事故防止方針、毎月の重点目標を定め、社内掲示・点呼時の呼びかけにより全社員に認識させた。 車輛整備計画に則り、整備を行った。 | 毎年バスの乗り方教室を行ってきたが、コロナ禍により開催が難しくなっている。 | 活動継続 |
| | | 2.こどもの安全 | 策定した施策を全社員に認識させ、実行した。 | | |
| | | 3.高齢者の安全 | 年4回の集合教育により、安全教育を実施した。 | | |
| | | | 年4回の交通安全運動には必ず参加し、輸送の安全性向上に努めた。 | | |
| 31 | 株式会社みんなの味方 | 1.交通安全 | 従業員及びその家族への安全運転や交通法令の遵守を呼びかけた。 | | 活動継続 |
| | | 4.自殺予防 | 従業員及びその家族において日常の悩みや困りごとがないか声かけを行った。 | | |
| 32 | 有限会社大橋工業所 | 1.交通安全 | 朝礼時に従業員の体調確認を行い、トラックの荷崩れ防止や交通事故防止の声かけを行った。 | | 活動継続 |
| | | 2.こどもの安全 | 事務所を「こども110番の家」として、地域のこどもの安全確保に努めた。 | | |
| | | 3.高齢者の安全 | 段差解消など、高齢者の転倒防止に向けた工事施工に努めた。 | | |
| | | 5.防犯 | 現場への移動中は、防犯を意識して移動した。 | | |
| | | 6.防災・環境安全 | 作業現場において事故防止の声かけを行った。 | | |
| 33 | 株式会社福島情報処理センター | 1.交通安全 | シートベルトチェックを不定期で行った。 | | 活動継続 |
| | | 3.高齢者の安全 | 郡山市認知症高齢者SOS見守りネットワーク連絡会の会員になっている。 | | |
| | | 6.防災・環境安全 | 防災訓練に併せて、備蓄食料品、水や防災グッズの確認を行った。 | | |
| 34 | 有限会社グリーンフロント | 5.防犯 | 事務所の従業員にホームセキュリティ会社の防犯ブザーを所持させた。 | | 活動継続 |
| | | 6.防災・環境安全 | 売買、賃貸を問わず、全てのお客様へ郡山市発行のハザードマップを配布した。 | | |

令和2年度郡山市セーフコミュニティ活動推進事業所連携事業参加登録事業所取組状況

◎ 各事業所が郡山市内で取組んでいるセーフコミュニティ活動のテーマの内容

- 1.交通安全に関すること
- 2.こどもの安全に関すること
- 3.高齢者の安全に関すること
- 4.自殺予防に関すること
- 5.防犯に関すること
- 6.防災・環境安全に関すること
- 7.1～6以外の安全安心に関すること

| No. | 参加登録事業所名 | 取組テーマ | 令和元年度取組状況 | 活動改善点 | 令和2年度 |
|--|--|------------------|---|---|-------|
| 35 | 公益財団法人郡山市観光交流振興公社 | 2.こどもの安全 | ドリームランド（遊園地）にて、ベビーカー3台を随時無料貸し出しし、利用者サービスに努めた。 | テーマ3について 段差を発見し、解消するまでの期間は、来園者が段差に気付くように表示物を設置した。 テーマ6について 応急処置等の方法について、新型コロナウイルス感染症の影響により従来の方法と若干変わっていた点を消防署職員の指導のもと学び、不透明は積極的に質問する等、新型コロナウイルス感染症に対応した応急処置の方法を習得した。 テーマ7について プール利用者の入場待ちで行列ができた際に、なるべく直射日光の中でお待たせすることがないようにテントを張った。また、建物の日陰に誘導する等の対応を行った。 | 活動継続 |
| | | 3.高齢者の安全 | 来園者の転倒事故を防止するため、外部業者に依頼し、樹木の根っこ等によるアスファルトの浮き上がりを解消した。 | | |
| | | | 従業員が認知症について正しく理解したうえで認知症サポーターの資格を習得し、必要に応じて対応できるようにした。 | | |
| | | 5.防犯 | ドリームランド（遊園地）及びカルチャーパーク（会議室等）にて、それぞれ車いす2台を随時無料貸し出しし、利用者サービスに努めた。 | | |
| | | | 注意を促がす掲示物を施設内に設置するほか、施設内見回り時や事務所間移動の際に来園者に積極的に挨拶等の声かけを実施した。 | | |
| | | | 警備会社に依頼し、機械警備を設置している。従業員がいない夜間において、緊急時に即時に対応できるように安全確保に努めた。 | | |
| | | 6.防災・環境安全 | 夜間警備も兼ねて、毎日従業員を配置し、園内の巡回等を行った。 | | |
| 昨今頻繁に起きている地震等の災害や事故等を想定し、来園者を安心安全に避難誘導するための訓練や、命を守るための応急処置等の訓練を実施した。 | | | | | |
| 7.その他の安全安心に関すること | 熊等の獣が場内に侵入しないように電気柵を設置した。 | | | | |
| | 法律で定められている点検のほかに、始業点検、週間点検、月間点検を自主的に行い、アトラクション利用の安心安全確保に努めている。 | | | | |
| 36 | 公益財団法人湯浅報恩会寿泉堂香久山病院 | 6.防災・環境安全 | 新型コロナウイルス感染症流行のため中止 | 新型コロナウイルス感染症の流行を鑑み、IT等を活用した情報発信等を検討中 | 活動継続 |
| | | 7.その他の安全安心に関すること | 新型コロナウイルス感染症流行のため中止 | | |
| 37 | 郡山市民アマチュア無線実行委員会 | 6.防災・環境安全 | 無線電波を使った活動を市内、県外、世界に向けて発信した。 | 収集した情報の処理展開に少し処理の遅れがあったので、システムを再構築した。 今後誰でも使えるシステムを研修して水平展開を図る。 | 活動継続 |
| | | | 県立医大や県内医療機関を連携した活動で地域に安心安全を提供した。 | | |
| | | | 市の総合防災訓練、シティマラソンなどで防災活動を展開した。 | | |
| | | | 一般市民対象に危機管理防災研修を実施した。 | | |